

三重県経済の動向

No.498

HRI(株)百五総合研究所 地域調査部（谷ノ上・前田）

【現在の景気】：緩やかに回復している。個人消費は持ち直し、生産は回復、雇用は高水準で推移。

【当面の見通し】：緩やかな回復が続く。生産の回復、設備投資のさらなる持ち直しが期待されるなか、雇用は高水準を維持し、所得環境の改善が期待される。

個人消費：持ち直し

1月の百貨店・スーパー販売額（既存店、速報）は前年比6.2%減で2か月ぶりの減少。1月のコンビニ販売額（速報）は5.2%増で3か月連続の増加。家電大型専門店販売額（速報）は0.0%の微増で2か月連続の増加。ドラッグストア販売額（速報）は4.4%増で46か月連続の増加。2月の乗用車販売台数（普通+小型+軽）は1.2%増で3か月ぶりの増加、軽（△4.5%）が4か月連続で減少したものの、普通（+8.3%）が8か月連続の増加、小型（+1.3%）が3か月ぶりの増加。1月の家計消費支出（津市・二人以上の世帯）は、4.0%増で2か月ぶりの増加、3か月後方移動平均は2か月連続の減少。

住宅建築：足踏み

1月の住宅着工戸数は、前年比16.0%減で2か月ぶりの減少。3か月後方移動平均は1.6%増で2か月連続の増加。持家（△1.3%）は4か月ぶりの減少、貸家（△45.6%）と分譲（△9.5%）は2か月ぶりの減少。床面積（△10.1%）は3か月ぶりの減少。

設備投資：持ち直し

1月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比6.9%増と3か月ぶりの増加。2月の貨物自動車販売（普通+小型+軽）は、前年比22.0%増と6か月連続の増加、3か月後方移動平均でも6か月連続の増加。普通貨物（+31.0%）は6か月連続の増加、小型貨物（+37.4%）は2か月連続の増加、軽貨物（+13.2%）は8か月連続の増加。

公共工事：横ばい

2月の公共工事請負件数は前年比34.3%減で2か月ぶりの減少。請負額は105.6%増で2か月連続の増加、年度累計では12.2%増と11か月連続の増加。請負額増加の要因は、中部地方整備局（国）において取扱件数が増加したことおよび「42号尾鷲第2トンネル」、「三重河川国道事務所庁舎」関連、松阪市（市町）において「松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業」、三重県多気郡多気町松阪市学校組合（その他）において「多気中学校」の大型工事があった影響等による。

輸出入：上向き

1月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比6.4%増で2か月連続の増加。3か月後方移動平均では8か月連続の増加。主要港である四日市港は17.4%増で2か月連続の増加。品目別ではプラスチック、有機化合物などが減少したものの、石油製品、自動車、科学光学機器などが増加。県内2港の通関輸入額は、3.5%増と10か月連続の増加。

生産活動：回復基調続く

12月の鉱工業生産指数（季調済）は143.3で前月比6.9%低下し3か月ぶりの低下。原指数は145.0で前年比2.2%低下と4か月ぶりの低下。業種別に前月比をみると、業務用機械工業、石油・石炭製品工業などで上昇したが、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、金属製品工業などが低下。在庫指数（季調済）は95.5で、前月比2.5%低下と3か月連続の低下。

雇用情勢：高水準続く

1月の有効求人倍率（季調済）は1.76倍で、前月比0.05ポイント上昇。68か月連続で1倍を超え、全国を上回って推移。新規求人倍率（季調済）は2.61倍で、前月比0.22ポイント上昇。新規求人数（原数値）を産業別にみると、建設業、食料品、電気機械器具、輸送用機械器具などの製造業、運輸業、郵便業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業（他に分類されないもの）などが増加。正社員有効求人倍率（原数値）は1.27倍（前年差+0.11ポイント）で前年を上回って推移し、19か月連続で1倍を超えた。

（トピックス）

- ・ 2019年3月17日に、新名神高速道路の「新四日市JCT～亀山西JCT」の約22.9kmが開通した。県内においては、東名阪自動車道（以下、東名阪）と並走し、東名阪とダブルネットワークが形成される。これにより、東名阪（四日市JCT～亀山JCT）の大幅な渋滞が緩和され、所要時間の短縮や渋滞中の交通事故の削減が見込まれる。また、観光振興やまちづくりなど沿線地域の経済・産業の活性化が期待される。
- ・ (株)おやつタウン（津市）は、ベビースターラーメン工場一体型のテーマパーク「おやつタウン」（津市）の開業日を2019年7月20日と発表。国内最大級の屋内型アスレチックやオリジナルのベビースターラーメン作りの体験コーナーなどを設置予定。ファミリー層を中心に、中部圏や関西圏からの集客が期待される。